

令和4年度 第4回 蒲原地区学校統合準備委員会を 開催しました！

令和4年11月15日
午後7時～8時30分
蒲原生涯学習交流館

蒲原地区では、令和2年度から、地域主導の「蒲原地区学校統合準備委員会」を随時開催しています。

自治会関係者、学校やこども園のPTA会長の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会とともに、施設一体型の新しい学校について話し合っています。

【第4回目の内容】

・校舎建設の基本設計（最終プラン）の決定について

今回の統合準備委員会では、9月に提案された設計プランに対し、前回の統合準備委員会で出された意見や、住民の皆さんからの意見、学校の先生たちの意見などを反映させた基本設計（最終プラン）が提示されました。平面プランに加えて、外観のイメージ画像や内観の3Dモデル映像なども提示されました。

委員の皆さんからは、「蒲原の地域性や歴史性を表現する外観のコンセプトに感動した。」「3Dのモデル映像を見て、具体的なイメージが膨らんだ。完成が楽しみだ。」

「すっきりとしたデザインと洗練された色合いでわくわくしている。」など、これまでの準備委員会での意見や要望が盛り込まれた設計に、感謝と期待のこもった感想が出ました。

今回の基本設計（最終プラン）をもとに、より詳細な実施設計という工程に移っていきます。

今後の統合準備委員会では、イメージの膨らんだ新しい校舎で、「どのような学習活動を行っていくか」や「地域とともにどのような使い方ができるか」などについて考えていく予定です。

今後の予定



第1回
学校統合準備委員会
6月8日(水)

第2回
学校統合準備委員会
7月25日(月)

第3回
学校統合準備委員会
9月16日(金)

次回

第4回
学校統合準備委員会
11月15日(火)

第5回
学校統合準備委員会
2月開催予定

◎お問い合わせ先

蒲原中学校(学校統合準備委員会事務局)
市教育施設課(基本設計について)

☎054-385-4115
☎054-354-2514

新しい校舎は
こんなイメージです！

※画像はあくまで現時点のイメージです。



外観イメージ（グラウンド側）



外観イメージ（正門側）



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
校舎建設に係る今後のスケジュール	基本計画	基本実施設計	管理棟移設工事	管理棟解体工事	新校舎建設工事	4月開校 教室棟解体工事
			現在			

蒲原小中一貫校整備事業のお知らせ



蒲原小中一貫校校舎建設に関する 基本設計の決定について

静岡県教育委員会では、蒲原小中一貫校の校舎建設に向けて、市民のみなさまのご意見を募集しながら、蒲原地区学校統合準備委員会（会長：服部 和博）や学校関係者と共に検討を重ねてきました。以上を踏まえ、**基本設計を決定しましたので、みなさまにご報告します。**

裏面に基本設計図面を掲載しています

図面は静岡県ホームページでも掲載しています。
右のQRコードからでもアクセスできます。



今後は、更に詳細な仕様や寸法、構造を定める
実施設計がスタートします！

基本設計の修正に関して頂いたご意見

市民意見募集（抜粋）

- 避難路が左右（東西）方向にしかないところは、やや心細い →校舎の南北にも出入口を設置しました。
- 学校前の横断歩道を渡って、わざわざ学校の角にある生徒通用門に向かう流れが不自然に感じられる →安全確保として、敷地内で歩車分離できる計画とし、できる限り車両入口と交差しないよう検討を進めます。
- 2階だけ手洗い場が2か所なので、もう1か所増やしてほしい →2階の手洗い場を3か所にしました。
- オープンな図書室は、本を無断で持って行ってしまいう子がないか心配 →学校管理、運営で検討します。
- 特別支援学級の位置が、小学1年生の教室の隣になっているが、特別支援学級の児童が落ち着いて学校生活を送るためには、少し間をあけた方がよいと思う →階段や相談室を間に設置しました。
- 保護者の車と通学バスが、雨の日などにロータリーで一緒になるのは危険ではないか →学校管理、運営で検討します。
- 図書室には低学年用の畳スペースや、情報センター機能としてのパソコンを設置してほしい →今後の実施設計において検討します。

統合準備委員会（抜粋）

- 生徒の避難を考えると1階中央あたりに校庭への通用口が必要ではないか →校舎の南北にも出入口を設置しました。
- 図書室のスペースが魅力的なため、土日などに一般の人も入れるようにしてもらいたい →学校管理、運営で検討します。
- 防犯のため、地域交流室と校舎の間で施錠できる工夫が望ましい →地域交流室は区画を分けて内側からも施錠できる仕様とします。
- 津波からの避難の際、現状、蒲原中学校の3Fから屋上に避難することになっているが、新設する小中一貫校校舎も同様としてほしい →蒲原小中一貫校校舎は、津波からの避難場所として機能する構造とし、津波避難ビルに指定される予定です。

※本事業は、蒲原地区学校統合準備委員会の協力のもと、静岡県教育委員会にて実施しています。

※蒲原小中一貫校整備事業に関する情報は、随時、静岡県ホームページで報告していきます。

【お問い合わせ先】

静岡県教育委員会事務局 教育局 教育施設課 建設整備係
電話：054-354-2514 FAX：054-354-2480

基本設計図面 7,098㎡ (+デッキテラス70㎡)



廊下とアルコーブのイメージ



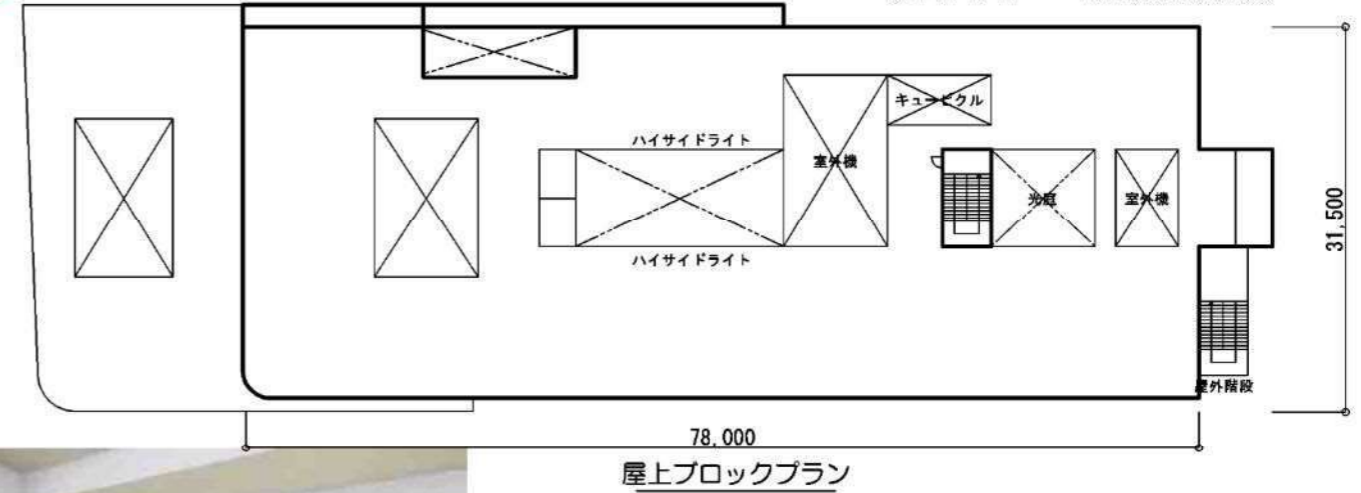
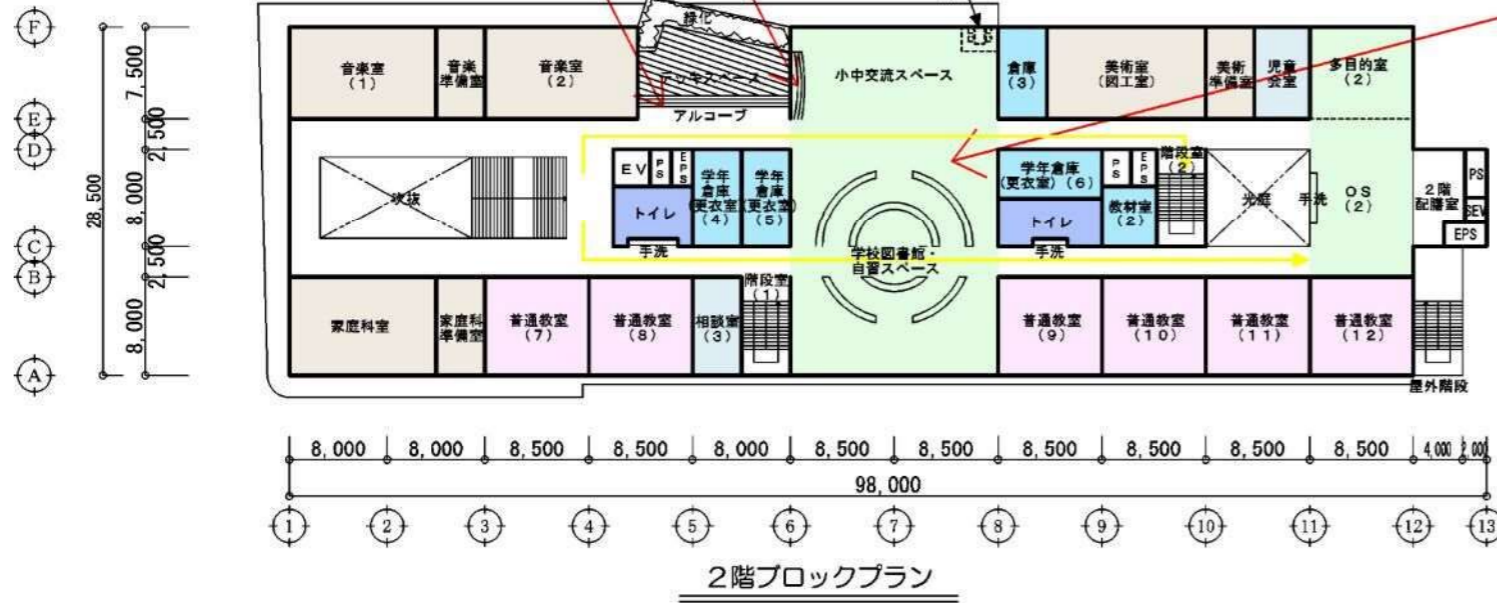
小中交流とアルコーブイメージ

アルコーブ（廊下の幅が一部広がる空間）を整備し、休み時間等の会話のスペースや、デッキテラスと繋がる開放的な空間を創出



学校図書館イメージ

校舎の中央に図書館を配置することで、児童生徒が日常的に本に触れられる空間を整備。また、小中交流スペースと一体とすることで、交流の場としても有効

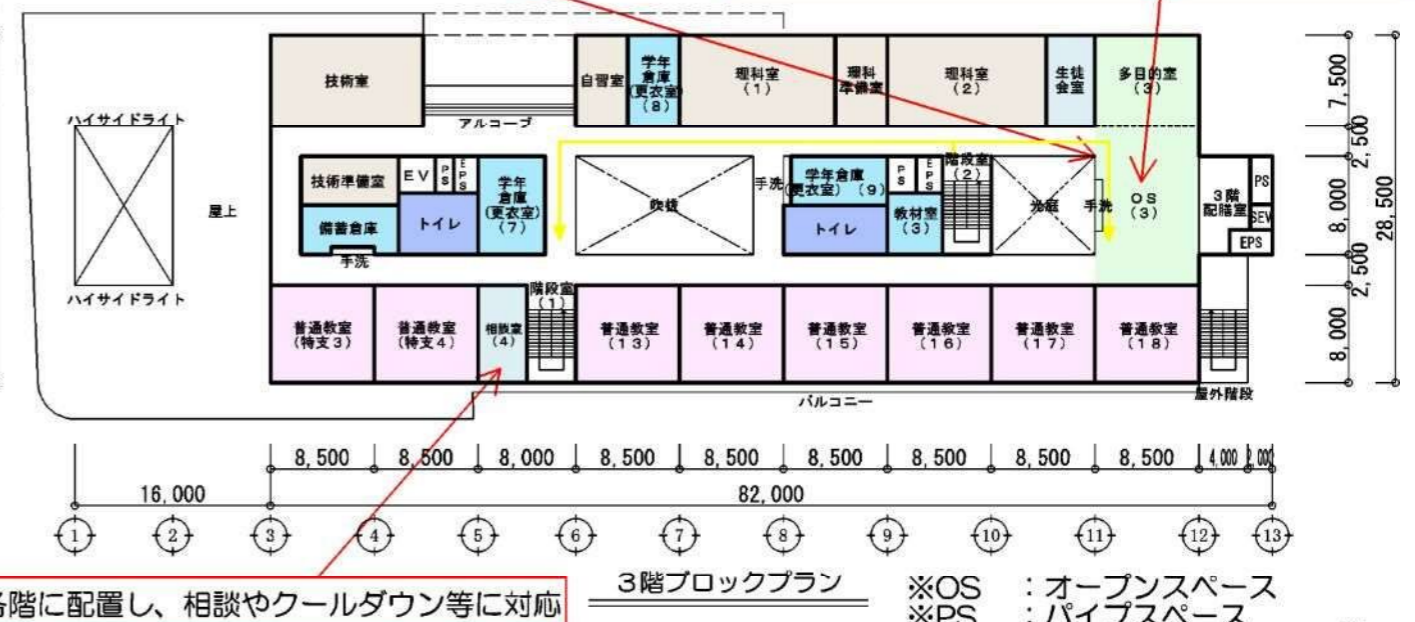
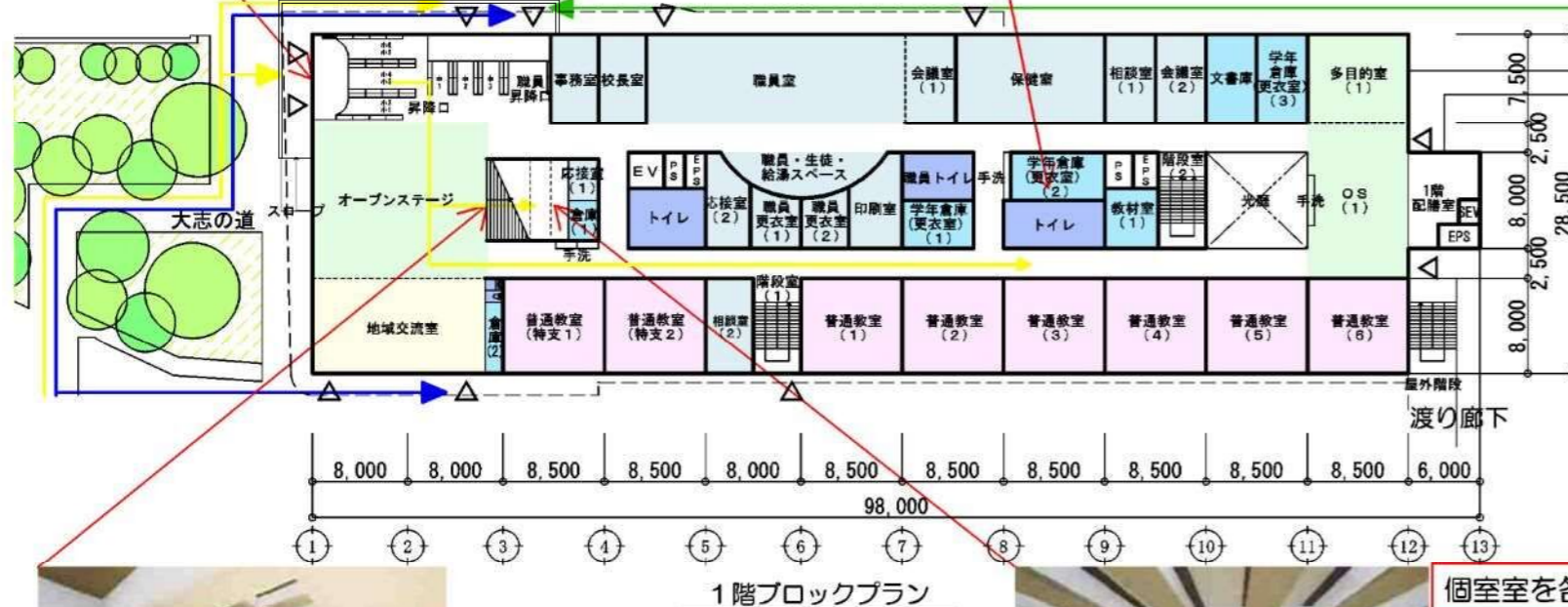


光庭やハイサイドライト（高窓）で明るい校舎を創出

豊かな自然を感じながら登校でき、児童生徒がグラウンドと校舎を行き来しやすい昇降口

各学年に学年倉庫（更衣室兼用）を整備

多目的室とOS（オープンスペース）を一体利用し、学年集会を行うスペースにできる。



昇降口から大階段イメージ

オープンステージと地域交流室の一体利用により、集会やイベントの開催、日常のフリースペースとしても有効



2階から大階段イメージ

個室室を各階に配置し、相談やクールダウン等に対応

大階段では、児童生徒が腰掛けて読書したり、イベントでのステージとしても利用できる。

- ※OS : オープンスペース
- ※PS : パイプスペース
- ※EPS : 電気配線スペース
- ※EV : 昇降機
- ※SEV : 小荷物昇降機
- ▽ : 出入口
- : 可動間仕切り
- - - - : 庇